



大阪府立中央図書館の開館を迎えて

奥田幹生文部大臣 祝辞

本日ここに大阪府立中央図書館の開館記念式典が行われますことを、心からお喜び申し上げます。

今日の社会においては、科学技術の進歩、情報化、国際化などを背景として、絶えず新たな知識・技術を習得していくことが、求められています。又、豊かで充実した生活を送るためにも、生涯学習に取り組むことが必要となっております。こうした社会的な要請に応え、人びとに多様な学習機会を提供するための基盤を整備することが重要な課題となっております。公立図書館は、住民の身近にあって、学習に必要な図書や情報を収集・整理し、その利用に供することにより、人びとの自主的な学習を支援する機関であります。近年、図書館に対する住民の期待はかつてないほど強まり、より豊かで、質の高いサービスを提供することが求められております。大阪府におかれましては、明治三十七年に大阪図書館を開館して以来、広く府民の読書活動に奉仕してこられました。このたび、府民の多様化、高度化する学習ニーズに直接応えるとともに、広く府内の中核となる図書館として、新しい府立図書館が建設されましたことは、誠に時宜を得たものであり、全国における図書館の振興を図る立場にある私どもと致しましても、喜びにたえません。

この大阪府立中央図書館は、自治体最大規模である、三五〇万冊の図書収蔵能力を誇り、コンピュータを導入した最新の検索システム、ネットワークの形成による府内の市町村の図書館の支援、又、府民講座の実施や障害者への図書館サービスの充実等、府民に広く開かれた情報文化の拠点として、府民参加型の図書館の運営を目指しておられ、また本日の開館を前に、早くから府民の関心を集めていることを伺っております。

今後、この大阪府立中央図書館を一つの核として、大阪府における生涯学習の基盤の整備が進められ、府民の方々の生涯学習の一層の充実がはかれることを期待致します。終わりに、本日の開館に至るまでの、大阪府及び大阪府教育委員会の関係各位のご尽力に対し、敬意を表しますとともに、今後のご発展を祈念致しまして、お祝いの言葉と致します。



テープカット

横山ノック大阪府知事 挨拶

大阪府立中央図書館の開館記念式典にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

大阪府では人びとの読書、学習に対する意欲の高まりや、図書館に対するさまざまなニーズに応えるべく、新しい図書館の建設を進めてまいりました。本日、諸先輩のご努力は実を結び、このように大勢の皆様が祝福されながら、開館の日を迎えることができましたことは、誠に喜ばしい限りでございます。府民の皆さんは言うに及ばず、文部省、国会、府議会の先生方、さらには地元の方々の皆さや、多くの関係者のご支援、ご協力に対し、ここに心から感謝を申し上げます。

この中央図書館は、自治体最大規模を誇るハード面に加え、ソフト面におきましても、コンピュータシステムによる図書の検索や、パソコン通信による、家庭にしながら、所蔵資料の検索等、利用される方々にとって便利なように、さまざまな工夫を凝らしております。市町村の図書館を通じて、蔵書の検索や貸出ができる図書館ネットワークも整備いたしております。このほか音楽、演劇、講演会など、さまざまな文化活動が行えるホール、会議室なども備えており、高度情報化社会に対応した生涯学習の場として、府民の皆様にご利用いただけるよう今後とも取り組みを進めてまいりたいと考えております。なお、この図書館の開館に伴い、府立中之島図書館は、大阪の郷土資料センターの機能を持つ図書館として、リニューアルオープン致しますとともに、同時に府立夕陽丘図書館は新たに特許情報センターとして四月一日から開館しております。皆さまには、ぜひご利用頂きたいと思っております。

最後に、大阪府立中央図書館が府民の皆様によく利用され親しまれる図書館となりますよう、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。